

# コンクリートブロックの工夫

- 防波堤やドックに続く護岸の港外側の石積の下には、3段のブロックが積まれています。
- 基本的な形状は、長さ6尺×幅4尺×高さ4尺です（高さは頂塊は4尺のみ、他は3尺や2尺5寸もあり）。
- 高さ4尺のブロックの重量は約6トン（現代では小型）。安定性を高める以下の工夫がなされています。
  - 頂塊の上部に段差を設け、最下層の石材を固定（せり出しの抑止＝顎止め）
  - 頂塊の側面に縦方向の凹み（溝）を設け、袋詰め mortar により隣のブロックとのずれを抑止
  - 頂塊底面とその下の上部には凹凸を設け、下層とのずれを抑止
  - 先端部では、頂塊の吊下げ用の穴に古レールをかすがいのように差し込み、隣のブロックと緊結

